

地域・行政資料サービス

地域・行政資料室

研究を続けている方々などに利用していただいています。

「旧家が所有する文書を見たい」

「文化財について知りたい」

「市内を流れる川の水源はどこか」

「新たに住む土地には昔何があったのか」

「古代から現在までの地名の変遷」

など、その場で質問に答えられる場合もあります。

ただ、後日回答する場合があります。

こうしたレファレンス記録は蓄積され、同じ質問をいただいた時の参考資料となります。

また、子ども向け地域資料「にんにん西東京」を作成する際のテーマ選定にも活かされます。

子ども向け地域資料とは、一般向けの資料しかなかった頃から、多くの小学生たちの調べ学習に対応するため、担当職員が作った、町の歴史や文化をやさしく解説した冊子のことです。

希望する方にカウンターで配布しています。

地域・行政資料室

利用のご案内

昭和五十年の開館以来収集している旧田無市関係資料と、平成十三年の合併を機に統合された旧保谷市関係資料を中心に収集、保存、提供しています。

市史編纂の際に集められた名主文書、村絵図などの近世資料や、市指定文化財の地租改正絵図など、複写製本や実物をご覧いただけます。

開室時間は、中央図書館開館日の午前十時から午後五時までです。

また、みなさんのお宅に写真や記録など、地域の移り変わりを伝える資料がありましたら是非図書館までお知らせください。

地域・行政資料あれこれ

地域を知るための資料には、西東京市を中心として、多摩地域、東京都、旧武蔵国の歴史・地理・民俗・自然などに関する図書、西東京市の発行物、東京都及び近隣市町村の基本的な行政資料、市内在住者の著作物、田無市史・保谷市史編纂資料などがあります。

書店の店頭と並ぶ出版物も貴重な情報源ですが、自治体の刊行物である行政資料は、市議会会議録、予算・決算書、統計、計画書などがあり、市民が自ら住む町の状況を知るための重要な手がかりとして積極的に収集

しています。

これらは西東京市図書館地域・行政資料分類表により整理されています。

資料の主題をアルファベットと数字の二桁で表し、地域を表す数字三桁と組み合わせています。

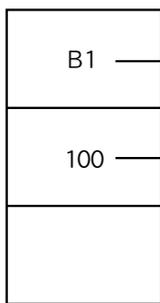
図書の形態ではない資料も収集の対象としています。

西東京に関する新聞記事、ポスター、ちらし、パンフレット、地図、写真など、様々な情報を提供してくれるこれらの資料も貴重な西東京資料群です。

課題・将来展望

資料のほとんどは「紙」でできています。保存性を考え、中性紙を使用し印刷する、保存箱・封筒に入れるな

※地域・行政資料は緑色の3段ラベルで分類を表示します。



一段目のアルファベットと数字で資料の主題を表します。
(例) Bが歴史(B1は通史・資料集)、Dは地理・文化財、Eは民俗・宗教など。

二段目の3桁の数字は資料が扱う地域を示す地区コードです。
(例) 100が西東京市、010は東京都、020は多摩地域など。

どの措置を取ることもありません。劣化しやすい新聞記事のデータをデジタル化して保存・提供していきます。西東京にかかわる資料は日々増え続けていますが、それらを将来の利用者に伝えることも図書館の役割です。現物の保存と共に新たな媒体を利用してのデータ保存を進めていきたいと考えています。

18年度の行事報告

地域・行政資料室では、今年度、二つの事業を実施しました。

にんにん西東京

いまおかし探検隊

夏休みに、郷土資料室の協力を得て、小学生を対象とした「にんにん西

東京いまおかし探検隊を行いました。

全体を二部構成にし、一部の勉強編では、「探検レポート」のクイズに答えてもらいました。クイズは三つ用意し、西東京市の街の変遷や郷土資料に触れてもらいました。

一問目「まちのようすをくらべっこクイズ」では、展



どうぐくらべっこクイズ

示された西東京市内の写真で街の新旧を比較しました。二問目「どうぐくらべっこクイズ」では、昔の道具が現在では何に変化しているかを絵で描いてもらいました。三問目「タッチクイズ」では、昔の道具と題して、蓄音機と唐箕とうみに触つてその用途を考えてもらいました。なじみの場所の昔の写真を見たり、普段目にするのではない道具にじかに触れたりする子どもたちからは、熱気と興奮を感じました。

また、二部の遊び編では、新旧の子どもたちの玩具に触れ、紙トンボを作ったり、けんだまやおはじき、竹とんぼ、お手玉などの昔の玩具で遊んだりしました。体験の中では、紙トンボ製作が最も好評で、「もつと遊びたい」という声が多く寄せられました。子ども

もたちは遊びを通して「むかし」を探検し、よい思い出をつくったようです。

大人のための

連続講座

十二月に、二回の連続講座「元禄の江戸と赤穂事件」を古文書インストラクターの吉田豊氏を講師に迎えて



田無公民館で行いました。忠臣蔵で知られる赤穂事件についてその時代背景を探り、一日目は「松の廊下刃傷・浅野内匠頭切腹」、二日目は「赤穂城明け渡し・吉良邸討ち入り」と題して、事件の真相を第一級史料から読み解いていただきました。

古文書から読み解く赤穂事件の真相は、史実に基づきながらも臨場感のある内容で、受講者の方から「時間が足りない」「また企画してほしい」という声が多くあがりました。

この講座は、申し込みの段階より定員を超える多くの受講希望がありました。

今後もうこうした企画を通じて、幅広い年代の方に地域・行政資料に関心を持っていただくとともに、多くの方に気軽に利用していただきたいと考えています。

18年度 図書館協議会報告

本年度の図書館協議会では、保谷駅南口に建設中の(仮称)保谷駅前公民館・図書館の施設をいかに良くするかということを主な議題としてまいりました。「公民館・図書館施設整備計画懇談会」の報告や、(仮称)保谷駅前公民館・図書館利用者説明会報告」を参考に、限られた時間の中で、市民にとって良い公民館、図書館ができるように論議を重ねています。

平成十九年度の検討課題として、図書館事業の見直しを行います。図書館経営に民間活力を導入し、図書館機能の充実、運営の効率化を図る目的が入っています。業務の分析や、利用者の満足度の調査、職員の業務意識の調査、経費の比較等の各方面から、これを十分勘案した上で、図書館協議会としての提言をしなければなりません。なお、十八年度武蔵野大学図書館学特論で、村田会長、服部副会長が特別講義を行いました。

【協議会開催日】

平成十八年四月二十七日、七月二十日、七月二十八日(練馬区立春日町図書館見学)、十月二十六日、平成十九年一月二十五日、二月八日(小平市立花小金井図書館見学)。

(木山碩夫)